

本号第17号は原著1編と全学研究ポスターワークショップの報告が掲載されています。掲載数が少なく少し寂しいところですが、内容は本学の特徴をよく表したものとなっています。

原著論文では、著者らのグループが2年間にわたり京都府及び滋賀県の高校を訪問し「スポーツ医療講座」による教育・啓蒙活動を行いながら、直接高校生から集められたスポーツクラブ活動を行う高校生の外傷と障害に関する貴重な情報が分析されています。「スポーツメディカリスト」の養成にも力を入れる本学においては、教員のみならずアスリートとして活躍する学生諸君にも興味深い内容と思いますので是非多くの方に読んでいただきたいです。

全学研究ポスターワークショップは平成24年の開始からすでに6回目となり、恒例行事として定着してきたところです。本学は鍼灸学部、保健医療学部および看護学部と3つの学部があるので、演題タイトルを見ていただくとわかるように広い専門分野の多様な研究が含まれています。それらが一堂に会して、果たして議論になるのか?と思いきや、専門外の発表でも‘面白いものは面白い’のであり、また専門外だからこそその本質的なスルドイ質問が生まれたり、それぞれの専門の学会とは一味違う刺激の場になっているように思います。これらの研究が実を結び、近い将来、本誌を賑わせてくれることを大いに期待いたします。

明治国際医療大学誌編集委員会  
委員長 糸井マナミ